

日 時：2011/12/15 14：00～15：30

対 象 町 名：門脇町一丁目

参加地権者数：63名／127名

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（30分程度）

◇地区の復興計画について

◇河川堤防整備・災害復旧・測量の立入りの予定について

◇再開発事業、優良建築物等整備事業、住宅地区改良事業について

4 意見交換（45分程度）

- ・12/13発行の市報で、復興基本計画の意見交換会のQ&Aのなかで、可住地域と非可住地域についての説明があるが、門脇1丁目については人的被害や流失家屋はどれくらいあるか。

⇒申し訳無いが、市全体での数字はつかんでいるが、個別の町名ごとののはつかんでいない。（基盤整備課）

- ・門脇1丁目は、日和山がせり出して堤防代わりとなり、人的被害はあったが流失家屋は無かった。だから、門脇1丁目は堤防の必要性は認めるが可住地域になると思っている。そのなかで、高盛土道路の整備はどんなイメージになるのか。

⇒河川堤防の設計がどうなるか次第であるが、南浜側の高盛土道路にすりつく部分は高くなるものの、河川堤防に沿う部分においては、宅地として有効に使える部分については基本的にはその宅盤の高さに合せた道路にするイメージである。しかし、河川堤防の結論次第では高くなる可能性もある。

- ・河北新報に載っていた岩手県立大のモトダ教授の発言によれば、高盛土道路は交通施設であるから、結局は防災施設としては役に立たないということ、また平時には使いづらいということ（まちづくりの阻害要因になったりする）だった。門脇1丁目は日和山で守られているので、いつ来るか来ないかも分からない津波のために、ただの交通施設を作るのは止めて欲しい。

⇒河川堤防の結果と、今のご意見を合せて今後の検討を深めていきたい。（基盤整備課）

- ・基本的に、今のところに住み続けたい。堤防の高さ等は専門家の人達が詳しいだろうが、堤防の高さが決まったらその高さに宅地も埋め立てして、その土地に住まわすことは出来ないのか。聞いていると話が煮詰まっていなく、そのような状態なのに各自には今後を検討しろと言われても困る。

⇒ご指摘はごもっともと思う。我々も河川事務所とともに検討しているところである

が、河川堤防は、港側の堤防の高さをもとに、上流に向かってどういう高さにしていったら良いかということで検討を進めているところであり、11月にやっと港側の堤防の高さが標高で7.2mに落ち着いたところであり、地盤からの高さにすれば約6m位になるということで、そこから大橋に向かって堤防を作っていくことになる。そのときに堤防の各場所での高さや必要な用地幅等を検討し、道の拡幅等も考慮しながら、宅地として使える場所がどうなるのかということを含めて提示していきたいと考えている。現時点での予想では、宅地を盛るということになる約4~5m盛らないといけないだろうという気がしており、そのときには土を落ち着かせるのに数年かかるということもあるので、すぐに住んでいただくことを目指すうえでは問題があり、どうしたら皆さんに早く住んでいただくことが出来るのかということも検討をしているところであり、今後皆さんと相談させて欲しい。(基盤整備課)

⇒土を落ち着かせるのに時間がかかるということであれば、新蛇田も同じことではないか。

⇒1~2m程度の盛土と、4~5mの盛土では、時間が異なる。(基盤整備課)

⇒7.2mの海岸堤防をつくれば、津波は防げると保障できるのか。

⇒保障は出来ない。この海岸堤防の高さは100年程度に1回来る津波の防御を想定しており、これでは今回の津波は守れないので、海岸堤防を越えて来る波に対しての防御として、高盛土道路や避難路を考えることにしている。河川堤防の高さも、川を遡上してくる波の高さを分析して、どの地点ではどういう高さになるかということを含めて堤防の高さを具体的に決めていくことになる。(基盤整備課)

その高さの決定については、測量もしながら決めていくので、もう少し時間を頂きたい。(河川事務所)

- ・市報では、大橋のところは4.1mと書いてあるではないか。決まっているのではないのか。

⇒その途中については、決まっているわけではない。(河川事務所)

⇒始終点の高さが決まっていて、本当に途中が分からないのか。いつもそうやって細かいところになると検討中といっただけでは困る。結論を聞きたい。

- ・今回のお話を聞いていると、ここに住みたいという意見が多いようなので、門脇1丁目も住居系で考えるという方向で検討を進めていくということよろしいでしょうか。(基盤整備課)

⇒その発言は、資料にある公園ゾーンで考えますということを含めて否定することなのか。

⇒この地域は、日和山と河川堤防に挟まれてすり鉢型の地域になりかねないので住居系の土地利用は厳しいものがあると考え、公園という提案を確かにしていたが、今回のお話を聞いて居住意向が強くなるようなので、最も細かい部分とはともかく、それより北側のエリアについては、住居系の土地利用の可能性も念頭に置いたうえで検討を進めていくということ含めて宜しいかということ含めて申し上げた。(基盤整備課)

- ・市長や助役、議員がさっぱり動いていない。

- ・17日の復興基本計画の説明会のとくと全く内容が違ふことになっているが、それで良いのか。あのときは門脇1丁目が無くなると思つて聞いていて、今回は住めるという内容で正直ホツとしてはいるが、本当にこのようなことで良いのか、ガツクリしている。堤防で土地が無くなるとずつと言つているが、我々は河川側の土地を守りたいと思つている。東京都は瓦礫を受け取つて埋め立てて土地を広げようとしているところである。石巻市も狭いと言つていないで、埋め立てて土地を増やせば良いではないか。また、津波には海津波と川津波があつて、門脇1丁目の場合は川津波であるから威力は少なかった。そんなところの山すそに盛土などして何を守るのか、日和山を守るつもりか。結局国の事業ということで、高所に移転すれば補助が出るとかそういった理由で考へているだけで、全く愛情がない。また門脇1丁目は地盤も強固で、水害・津波を除けばとても災害に強い町であつて、4~500年も続いた石巻発祥の歴史ある地である。避難路も市ではなく、住民が自ら作つたものだ。仮設住宅等で苦しい思ひをして住んでいる人達にとつて、戻るべきこのような歴史ある町が無くなつてしまふということがあつて良いのか。

⇒実際には、最も細い部分はともかく、北側の少し広がっている部分については宅地ということもありえると思つており、今回の意見を聞いて、改めてそのような土地利用が実際に可能かを検討し、その結果の案をあらためて皆さんに提示して相談させていただきたい。(基盤整備課)
- ・河川堤防を作る際には、不法係留を無くするようにして欲しい。最近また増えている。先程の意見にもあつたように、川をもつと埋め立てて狭くすれば、これも減つてくるのではないか。

⇒川幅には、洪水の水を流すという機能もあるので簡単に埋めることは出来ないが、参考意見として伺う(河川事務所)

⇒3年位前に涌谷で国交省の人と話し合ひを持ち、不法係留を早急に撤去すると言つていたが、その人がその後転勤になつてそのままになつてしまつた。そういう無責任なことは止めて欲しい。今回の津波の被害が大きくなつたのも、不法係留の影響が大きい。東京は強制撤去をした。石巻もそうして欲しい。
- ・満潮時の水の高さより高い宅盤に盛つて欲しい。

⇒そうすると、今の家は全て移転ということになつてしまふので、難しい。とりあへず今はポンプアップで対応していく考へである。住宅の造り替えが難しい人については、住宅地区改良事業等も提案させていただいている。(基盤整備課)
- ・有名大学等の先生の発言も増えており、これらを参考にして欲しい。

⇒現在も、東北大学や日本大学、弘前大学等の先生の意見を頂いているところであり、今後もそういった方々の意見を参考にしてやつていきたい。

以上